

件名:

【一中】「一人の10歩より、10人の一歩」

今朝、挨拶に立っていたら、手に空き缶の入ったポリ袋を提げた生徒を複数見かけました。ご協力に感謝します。



「一人の10歩より、10人の一歩」と昨日の「はなまる」に書きましたが、一人では頑張っても出来ないことを、多くの仲間と一緒に取り組めば実現可能だということ、生徒たちに学生時代に感じさせたいと思っています。賛同してくれる仲間が10人とどまらず、100人、200人……、全校生徒と教職員（約620人）、と広がれば、期間も短く、一人の負担も少なく実現可能です。そういった賛同してくれる仲間とともに活動を成功させるという経験は、生徒たちが大人になったときにも必ず役に立つと思っています。

空き缶集めて車いすの寄贈まで、できれば取り組みを始めた3年生が本校に在学中に実現できればと思いますが、年度をまたいででも継続して取り組めたらと考えています。

実際に生徒たちは、R5の水害への義援金、能登半島地震への義援金では、本校内だけでなく唐津地区の生徒会に呼びかけて唐津地区すべての中学校で募金活動をしてもらうという取り組みを実現させています。仲間を増やすことの良さを感じている生徒もいると思っています。今回の取組も賛同してくれる仲間を増やす、継続したものにするという視点で、さらにアイデアを出して活動してほしいと思っています。

いずれにしても～みなさんの優しさありがとうございます～という気持ちで一杯です。ありがとうございます。こんな気持ち・経験が出来る教職員の仕事は有難いと思います。世間でいろいろ言われていますが、教職員でなければ経験できなかったと思います。

